

## ポルシェ ニュー911 カレラ 4、カレラ 4S を導入

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：Dr.ヴェンデルリン・ヴィーデキング）は、911のラインナップに4WDモデル、911 カレラ 4 およびカレラ 4S を2005年10月22日にドイツより導入開始いたします。

ポルシェは、これまでも伝説的モデルである959、1988年にデビューした911(964)カレラ 4において、4WD技術におけるポルシェの実力を早くから証明してきました。ニュー911カレラ 4、カレラ 4Sを、新しく911のラインナップに加えることにより、これまで築きあげてきた輝かしい伝統を引き継いでいきます。

ニュー911 カレラ 4 およびカレラ 4Sの主な特徴として、44mm幅を広げたリアフェンダーがあげられます。リアフェンダーのワイド化に伴い、カレラ 4のリアホイールには295/35ZR18タイヤを、よりパワフルなエンジンを搭載するカレラ 4Sには305/30ZR19タイヤを装着しています。カレラ 4には、最高出力239kW(325PS)を発生する3.6リッター6気筒エンジンが搭載され、5.1秒の0～100km/h加速と、280km/hの最高速度を達成。また、カレラ 4Sには、最高出力261kW(355PS)を誇る3.8リッターエンジンを搭載し、4.8秒の0～100km/h加速と、288km/hの最高速度をマークします。

マルチプレートビスカスカップリングを備えた4WDシステムは、駆動力の5～40%を常時フロントホイールに伝達し、コーナリング時では、ハンドリングの限界付近まできわめてバランスのとれた性能を発揮します。直進安定性は、例え最高速度にあっても揺らぐことはない素晴らしいもので、滑りやすい路面におけるトラクションも飛躍的に向上しています。

ポルシェ スタビリティーマネージメント(PSM)には新しい2つの機能が加わりました。ひとつはフルブレーキングにおけるブレーキシステムのプレチャージ機能で、ブレーキパッドとブレーキディスク間のエアギャップを狭めることにより、制動距離を短縮します。さらにブレーキの踏力が十分でない場合には、油圧ポンプが自動的に追加の圧力を補うことにより、すべてのホイールをABS制御域に引き上げ、最適な制動力を確保します。

911カレラ4Sでは標準、カレラ4ではオプションとなるポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) では、「ノーマル」モードを選択すると、ショック アブソーバーの基本設定がスポーティでありながら快適性も重視したものになり、「スポーツ」モードを選択するとスポーツドライビングに特化した設定が適用されます。いずれのモードにおいても、サスペンションのレート設定は走行状態および路面状況に合わせて変化し、常に最適な状態を選択します。

また、ニュー911カレラ4S、カレラ4には、エンジン マネージメント特性とPSMおよびPASMシステムの制御特性を変化させる「スポーツ クロノ プラス パッケージ」と、車高を20mm低くし、機械式LSDを備えたスポーツ サスペンションが、オプションとして用意されています。

<p>&lt;本件に関する読者からのお問い合わせ先&gt; ポルシェコール 0120-846-911 ポルシェ ホームページ <a href="http://www.porsche.co.jp">http://www.porsche.co.jp</a></p>
--

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
ポルシェ ジャパン株式会社  
広報室／荒瀬大雅  
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F  
TEL : 03-5436-5923 FAX : 03-5436-5919